



# Microsoft Teams Rooms

Deployment Guide

第13版



**Smarter  
technology  
for all**

**Lenovo**

# はじめに

本書は、レノボが販売する ThinkSmart ブランドの Microsoft Teams Rooms デバイスの展開にあたって必要な情報をまとめたものです。Microsoft 365 と共に使用する会議スペース専用デバイスであることから、その使用開始までには環境のアセスメントと事前準備、デバイスの初期設定、その後のアップデートの管理などの手順をステップバイステップでご案内します。

環境面の準備

デバイスの  
初期設定

ソフトウェアの  
アップデート

ソフトウェアの  
設定変更

リカバリー



1 Microsoft Teams Rooms とは

2 使用開始のための準備

3 デバイスの初期設定

4 ソフトウェアのアップデート

5 Microsoft Teams Rooms の設定変更

6 「サードパーティの会議」を有効化

7 ThinkSmart Managerを利用した  
デバイスおよび周辺機器のリモート管理

8 工場出荷状態へのリカバリー



# 1

## Microsoft Teams Rooms とは

Microsoft Teams Rooms (MTR) は、高品質の音声・ビデオ体験と共に一貫性のある直感的な会議を実現する、会議スペース向けソリューションです。レノボでは ThinkSmart というブランドで Microsoft Teams Rooms をプリインストールした会議スペース専用デバイスやカメラなどの周辺機器をご用意しています。



ハドルーム / 小規模会議室



中規模会議室



大規模会議室 / 役員会議室



ThinkSmart Hub Gen 2 + Cam

ThinkSmart One + Controller

ThinkSmart Core Full Room Kit Bar 180



ThinkSmart Core + Controller



# 2

## 使用開始のための準備

Microsoft Teams Rooms をプリインストールした ThinkSmart デバイスはインターネットを通じて Microsoft 365 に接続して使用されるデバイスです。使用に際しては、ネットワーク、アカウント、そしてライセンス面の要件への準拠をご確認いただく必要があります。

### 1 会議室専用アカウントの準備

Microsoft Teams Rooms は会議スペースで使用される共用端末です。従業員一人ひとりに対して Microsoft 365 のアカウントが割り振られると同様に、会議室に対しても一意のアカウントを割り振る必要があります。Microsoft 365 ではこのような会議室に割り当てるアカウントを「リソース」と位置付けており、Microsoft Teams Rooms デバイスの利用には1台のデバイスに対して1つの「リソース」アカウントでサインインすることが求められます。



#### 会議室のための「リソース」アカウント作成方法

1. Microsoft 365 管理センター\*1 を Web ブラウザで開きます
2. 左側カラムのメニューから「リソース」を選択します
3. 「会議室と備品」を第二階層のメニューより選択します
4. 右側カラム上部にある「リソースの追加」を選択します



**リソースの追加**

会議室、社用車、または全員が使用する必要がある備品などのメールボックスを作成して、それらのリソースを予約できるようにします。

[リソースの種類に関する詳細情報](#)

リソースの種類  
会議室

名前\*  
101会議室

メール\*  
test @ contoso.com

定員  
6

場所  
東京

電話番号  
0312345678

保存

リソースの種類は「会議室」を選択ください

会議室の名前は Microsoft Teams Rooms の待受画面に表示される他、会議室予約の際、また会議の参加者としての表示などに使われます

この画面で作成したメールアドレスは Microsoft Teams Rooms の初期設定時に使用されますので、控えておいてください\*2


\*1 Microsoft 365 管理センター  
<https://admin.microsoft.com/AdminPortal/Home>

\*2 リソースアカウントでの Microsoft Teams Rooms へのサインインに際しては初期ドメイン名 <domainname>.onmicrosoft.com 以外に設定するとサインインできない可能性が報告されています。

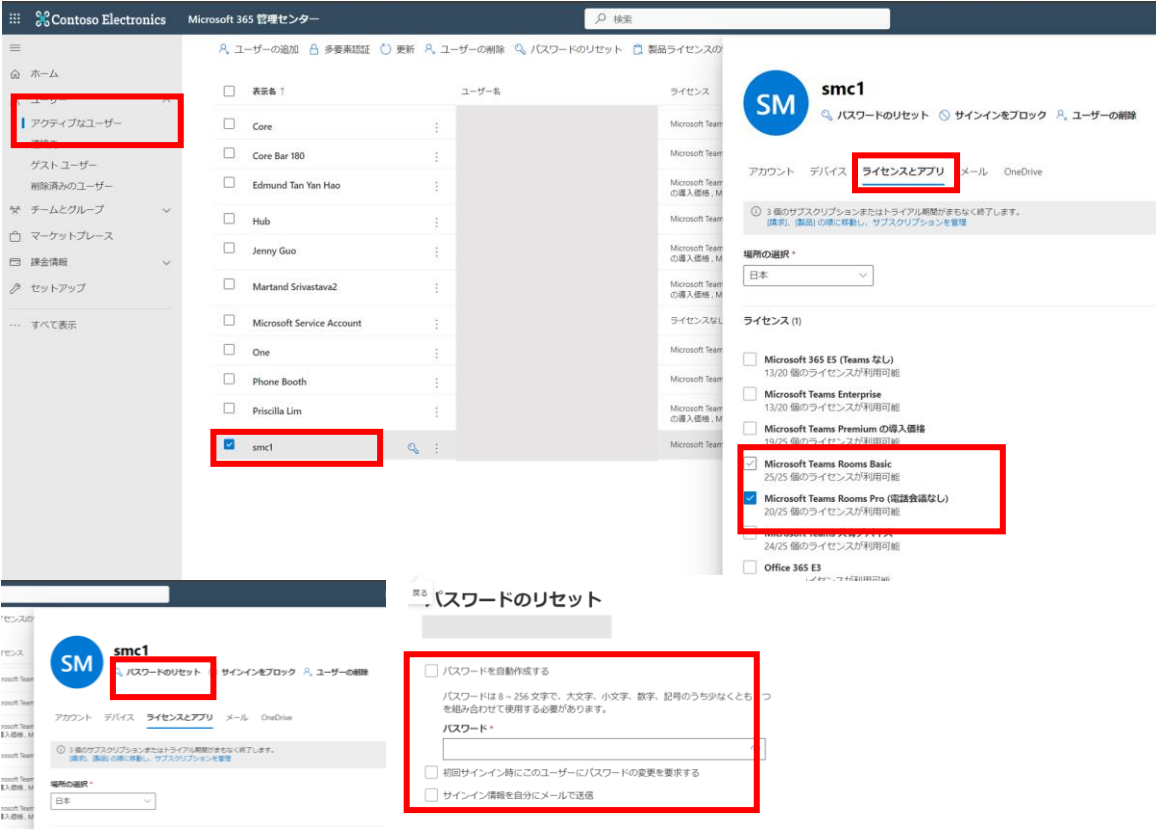


## 2 ライセンス要件

Microsoft Teams Rooms を使用するためには、会議室ごとの「リソース」アカウントに対して、必要なライセンスを割り当てる必要があります。Microsoft は会議室デバイス向けに「Microsoft Teams Rooms Basic」または「Microsoft Teams Rooms Pro」という2つの専用SKU（ライセンスをまとめたもの）を用意しています。展開するデバイスの数に合わせて、適切なライセンス \*3 をあらかじめご用意ください。

 ライセンスの割り当てとパスワードの設定

Microsoft Teams Rooms でサインインする「リソース」アカウントにはライセンスの割り当てとパスワードの設定（リセット）が必要です。以下の手順に沿って準備を行ってください。



The screenshot shows the Microsoft 365 Admin Center interface. On the left, the 'Active Users' menu item is highlighted with a red box. In the main area, the user 'smc1' is selected from a list, also highlighted with a red box. On the right, the 'Licenses and Apps' tab is active, and the 'Microsoft Teams Rooms Pro (no meeting minutes)' license is selected with a red box. Below the screenshot, a 'Reset Password' dialog box is shown with a red box around the 'Reset Password' button and another red box around the password input fields.

 ライセンスの割り当て手順

1. 「ユーザー」から「アクティブなユーザー」を選択
2. ライセンスを割り当てたい「リソース」アカウントを選択
3. 上部メニューより「製品ライセンスの管理」を選択
4. 「ライセンスとアプリ」タブ上でライセンスを割り当て
5. 設定を保存

 パスワードの設定（リセット）手順

1. 「ユーザー」から「アクティブなユーザー」を選択
2. ライセンスを割り当てたい「リソース」アカウントを選択
3. 「パスワードのリセット」を選択して設定
4. 初期サインイン時のパスワード変更要求のチェックを外す
5. パスワードをリセット

\*3 Microsoft Teams Rooms ライセンス

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/rooms-licensing>





## Microsoft 365 管理センターから Microsoft Teams Rooms Basicライセンスを入手する方法

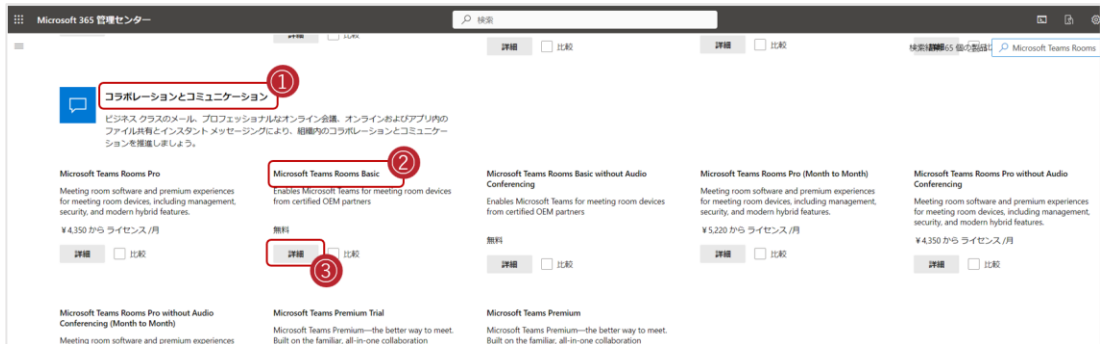
基本的な機能だけをご利用のお客様で、且つテナントあたり25台以下の場合、  
無料の Microsoft Teams Rooms Basic がご利用いただけます。

Microsoft Teams Rooms Basic は Microsoft 365 管理センターから以下の手順で入手いただけます。

1. Microsoft 365 管理センター (<https://admin.microsoft.com/AdminPortal/Home>) にサインイン
2. 左ペイン → 「マーケットプレイス」 → 「すべての製品」をクリックして  
検索ボックスで「Microsoft Teams Rooms Basic」を入力して検索 \*4



3. 検索結果の「コラボレーションとコミュニケーション」カテゴリ内の「Microsoft Teams Rooms Basic」の項目の「詳細」をクリック



4. 必要なライセンス数量を入力し、【購入】をクリック \*5



\*4 Microsoft 365 Enterpriseを使用している場合、左ペイン → 「課金情報」 → 「サービスを購入する」をクリック

\*5 テナントごとにMicrosoft Teams Rooms Basicを最大25ライセンスまで申請できます。

## 5. 精算ページで「注文」をクリックして購入手続きが完了 \*6



## 3 ネットワーク

Microsoft Teams Rooms はインターネットを通じて Microsoft 365 に接続します。一定のネットワーク構成に関する要件や帯域幅に関する要件を満たすことが必要です。

## 帯域幅 (Bandwidth) に関する要件

オンライン会議専用デバイスである Microsoft Teams Rooms を搭載した ThinkSmart を快適にご利用いただくためには、十分な帯域幅の確保が求められます。帯域幅が不十分な場合、Microsoft Teams はビデオ品質よりもオーディオ品質を優先して自動的にパフォーマンスを調整します。以下に示すものは Microsoft Teams 向けに定義されている帯域幅要件 \*7 のうち、ビデオ会議に関連する基準です。

	推奨値	最高のパフォーマンス
上り ↑	2.5 Mbps	4.0 Mbps
下り ↓	4.0 Mbps	4.0 Mbps

\*6 場合によって支払い方法を追加する必要があります。

\*7 Microsoft Teams 用に組織のネットワークを準備する  
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/prepare-network>





## 3 ネットワーク

## ネットワーク構成に関する注意点

企業や組織によっては、特有のネットワーク構成を有する場合があります。以下にご案内する内容は、頻出のネットワーク構成に関する注意点です。

- 安定性の観点から有線LAN経由の接続が推奨されています。必要に応じて、ThinkSmart デバイスでは無線LANをご利用いただくことも可能です。
- DHCP環境と固定IP環境いずれもサポートされます。固定IPのアサインが必要な場合、初期設定後に管理者がOS上で設定する必要があります。
- 特定のポートの解放、及び Microsoft 365 へのアクセスのためのIPアドレスレンジへのアクセスが保証される必要があります。詳細については最新の要件 \*8 をご参照ください。
- Microsoft Teams Rooms が必要とする URL に対してアクセス可能である必要があります。最新のリスト \*9 をもとに接続先のネットワークポリシーとの整合性をご確認ください。
- クライアント証明書に起因して、サインインできない事象が発生する場合があります。証明書が適切にThinkSmartデバイスに配信されているかなど、ご確認ください。
- Microsoft Teams Rooms からのトラフィックは暗号化されており、プロキシ環境での使用は推奨されていませんが、OS上の設定 \*10 により適用が可能です。
- 「カレンダーが取得できません」といったエラーが出る場合、AADアカウントの多要素認証を個別に無効化いただくことで解決する可能性があります。

\*8 Microsoft Teams Rooms 環境の準備

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/rooms-prep>



Office 365 URL および IP アドレス範囲 (Microsoft Teams)

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/enterprise/urls-and-ip-address-ranges>



\*9 ネットワークセキュリティ

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/security-windows#network-security>



\*10 Microsoft Teams Rooms プロキシ接続設定ガイド

[https://download.lenovo.com/mobilesjp/microsoft\\_teams\\_rooms\\_proxy\\_connection\\_setup\\_guide.pdf](https://download.lenovo.com/mobilesjp/microsoft_teams_rooms_proxy_connection_setup_guide.pdf)



\*11 Microsoft Teams Rooms デバイスでは、自動的な更新確認が毎晩実施されます。

アップデート適用のため、Microsoft Store にアクセス可能なネットワーク環境で利用を強く推奨します。

# 3

## デバイスの初期設定

環境面の準備が完了したら、デバイスを開梱して初期設定に移ります。

### 1 デバイスの開梱と配置

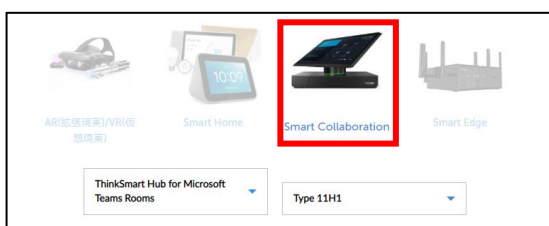
ThinkSmart デバイスの開梱と配置方法はデバイスごとに異なります。  
Lenovo サポートサイトよりダウンロード可能な各製品のユーザーガイドをご参照ください。

#### ユーザーガイドのダウンロード方法

1. Lenovo サポートサイト \*12 にアクセス
2. 製品グループのうち「スマートデバイス」を選択



3. 製品のうち「Smart Collaboration」を選択
4. サブシリーズから使用中の製品を選択 (例: ThinkSmart Hub for Microsoft Teams Rooms)
5. 使用中の製品型番の上4桁を選択 (例: 11H1)



6. 画面上部の製品情報カラムより「マニュアルファイル」を選択



\*12 Lenovo サポートサイト  
<https://support.lenovo.com/jp/ja/>



# 3

## デバイスの初期設定

初回起動時には OS の初期設定を実施いただく必要があります。

### 2 OS の初期設定

Microsoft Teams Rooms をプリインストールした ThinkSmart デバイスは Windows IoT Enterprise が動作しています。まずはOSの初期設定を行います。

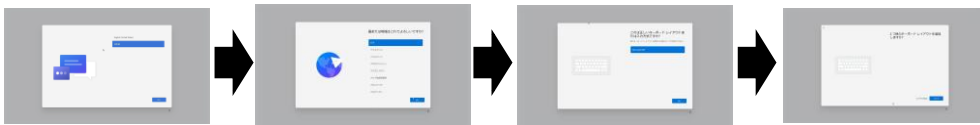
#### Windows の初期設定

1. ユーザーガイドに沿って設置したデバイスを起動



ThinkSmart Core もしくは ThinkSmart One をお使いの場合、OS の初期設定時のディスプレイとして付属のタッチコントローラーはご利用いただけません。外付けディスプレイとUSB接続のキーボード、マウスを接続の上、本項目の設定を実施してください。

2. 画面の案内に沿って言語やキーボードレイアウトを設定



3. 「ThinkSmart Managerに対するデバイスの申請」画面で左下の「今はスキップ」を選択  
\* 本ガイドでは、ThinkSmart Manager を用いない初期設定方法をご案内します



4. 画面の案内に沿って、管理者パスワードを設定  
\* デバイス設定の変更の際にここで設定したパスワードが必要となります



# 3

## デバイスの初期設定

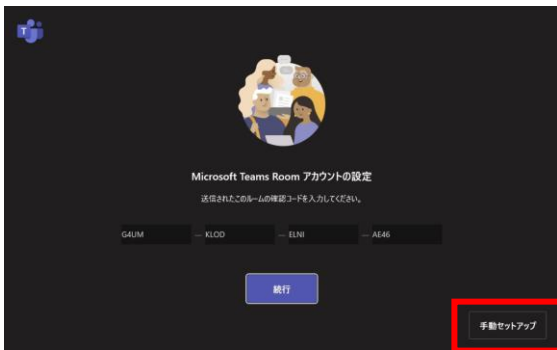
OS の初期設定が完了すると、自動的に Microsoft Teams Rooms の初期設定に移ります。

### 3 Microsoft Teams Rooms の初期設定

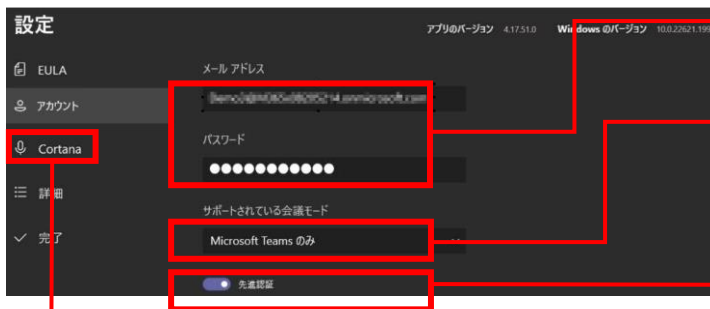
OSの初期設定が完了すると、自動的に Microsoft Teams Rooms の初期設定に移ります。画面の案内に沿って、前章「使用開始のための準備」で設定したアカウントを入力します。

#### Microsoft Teams Rooms 初期設定の流れ

1. Microsoft Teams Roomsのバージョン4.19.57.0から、ワンタイム パスコード (OTP) を使用してログイン\*13 できるようになりました。ワンタイムパスワードではなく、アカウントとパスワードでログインしたい場合は、「手動セットアップ」をタップください。



2. Microsoft ソフトウェア ライセンス条項の内容を確認して同意
3. アカウント設定画面において、前章で設定した「リソース」アカウントのメールアドレスとパスワードを入力
4. サポートされている会議モードの設定については、Microsoft Teams 会議を使用する場合、「Microsoft Teams のみ」を選択。オンプレミス環境で Skype for Business を利用する場合の設定は異なります



事前に設定した「リソース」アカウントのメールアドレスとパスワードを入力

Microsoft Teams 会議への参加を目的とする通常のユースケースの場合は「Microsoft Teamsのみ」を選択

企業や組織で先進認証をオンに設定されている場合、ここでオンにしないと、サインインできない恐れがあります。

Version 4.11.12.0以降は Cortana設定が追加されています

5. 詳細設定画面では、通常デフォルトの設定値のままで「次へ」を選択して完了

\*13 ワンタイムパスワードを利用したサインイン  
<https://techblog-lenovo.com/2024/02/20/otp/>



# 3

## デバイスの初期設定

### サインインが正常に完了しない場合の主な確認事項

上記手順で正常に Microsoft Teams Rooms 上のサインインが完了しない場合、以下の内容をご確認いただくことで、解決することがあります。

- Microsoft Teams Rooms を最新版に手動で \*14 更新
- アカウント情報（メールアドレスとパスワード）を再度入力
- パスワードを再設定して試行した後、解決しない場合は別アカウントでのサインインを試行
- Microsoft 365 管理センターで適切なライセンスが割り当てられていることを再確認
- モバイルルーターなどのバックアップ回線でインターネットに接続
- クライアント証明書を含むネットワーク設定 / プロキシ設定などを確認
- Active Directory と Azure Active Directory の整合性の確認

\*14 Microsoft Teams Rooms の手動更新

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/manual-update>

ThinkSmart Managerを利用したりリモートからのMicrosoft Teams Roomsのマニュアルアップグレード

<https://techblog-lenovo.com/2023/06/25/thinksmart-manager-mtr-upgrade/>



Windows IoT Enterprise 上で Microsoft Teams Rooms が動作する ThinkSmart デバイスではソフトウェアアップデートを適用することが機能 / セキュリティの両面で重要です。

## 1 基本的な考え方

Windows IoT Enterprise の OS を含むすべてのソフトウェアとドライバーは、Windows Update および Microsoft Store を経由して自動で更新されます。特定のユースケースを除き、自動アップデートの適用を妨げることはお控えください。デバイスドライバーについては、Lenovo サポートサイト (<https://support.lenovo.com/jp/ja/>) からダウンロード可能です。



### 初期設定後、速やかに Microsoft Teams Rooms を最新に！

自動的にソフトウェアアップデートが配信される一方で、プリインストールされた Microsoft Teams Rooms のバージョンが最新でないことに起因して正常にサインインや会議への参加が行えないケースが報告されています。初期設定が完了したタイミングで、必ず Microsoft Teams Rooms アプリケーションを最新の状態までアップデートしてください。

なお、OS / デバイスドライバーの更新については必要なタイミングで自動的に適用されるため、Windows Updateについては手動での適用は必要ありません。

#### Microsoft Store を経由した Microsoft Teams Rooms の手動アップデート方法

1. 管理者アカウントで Windows にログイン（第5章をご参照ください）
2. Microsoft Edge を開いて Microsoft Store 上の アプリケーションページ\*15 にアクセス
3. 言語設定が表示されるので「日本 - 日本語に移動」を選択
4. 画面右上の「入手」を選択して最新版の Microsoft Teams Rooms をインストール  
途中で Microsoft アカウントへのサインインを求められた場合は「×」で閉じてください

#### Microsoft Store を経由しないサイドローディングでの手動アップデート方法

1. 管理者アカウントで Windows にログイン（第5章をご参照ください）
2. Microsoft Edge を開いて Microsoft のドキュメント\*16 にアクセス
3. 「手順1」までスクロール
4. スクリプトをダウンロード
5. USB 接続の外付けキーボードを接続し、Microsoft Teams Roomsの待ち受け画面で Windows キーを5回連続で素早く押して管理者アカウントでWindowsにログイン
6. 管理者としてコマンドプロンプトを実行  
以下のスクリプトを改行なしで入力して実行  
(必要に応じて""以下のパスを #4 スクリプトの保存場所に書き換え)

```
PowerShell -ExecutionPolicy Unrestricted "<path to script>"
```

参考例：`PowerShell -ExecutionPolicy Unrestricted "C:\Users\Admin\Downloads\MTR-Update-4.19.82.0.ps1"`

7. デバイスを再起動

\*15 Microsoft Store 上のアプリケーション  
<https://aka.ms/UpdateMTR>

\*16 Microsoft Teams Rooms デバイスを手動で更新する  
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/manual-update>



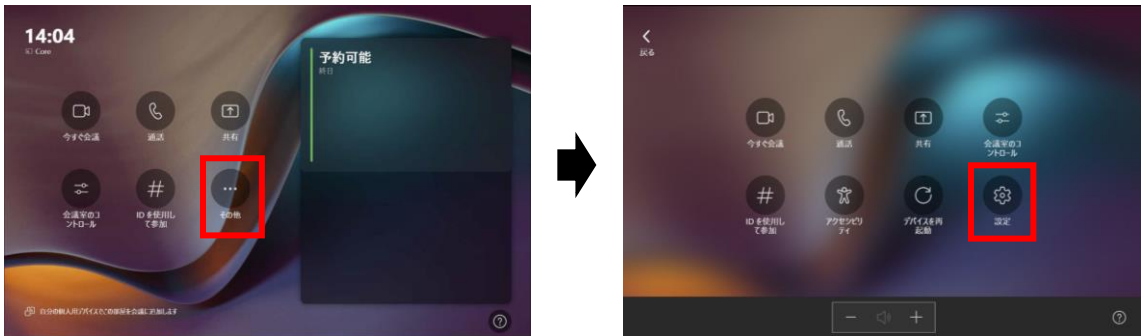
# 5

## Microsoft Teams Rooms の設定変更

初期設定の完了後も、任意のタイミングで Microsoft Teams Rooms の設定は変更可能です。また、OS側の設定にアクセスする必要がある場合も、この設定画面経由でアクセスします。

### 1 設定画面へのアクセス方法

起動後に自動表示される待受画面より「その他」→「設定」を選択します。その後、管理者パスワードが求められるので、デバイスの初期設定の中で使用したパスワードを入力することで、Microsoft Teams Rooms の設定画面にアクセスできます。



\* Microsoft Teams Roomsのバージョンが4.17未満の場合、レガシーのユーザーインターフェイスが表示されます

### Microsoft Teams Rooms の設定画面

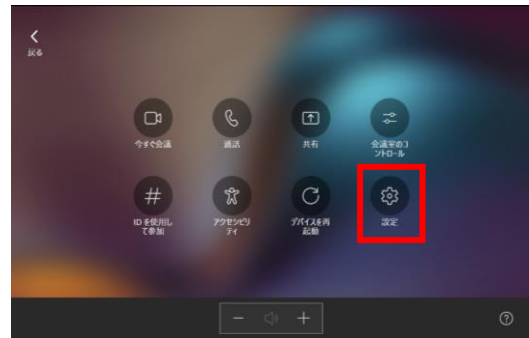
メニュー	内容
詳細	アプリのバージョン、Windows バージョン、IPアドレスやホスト名の表示
アカウント	「リソース」アカウントの設定変更や会議モードの変更
会議	自動画面共有設定、会議名の表示、サードパーティ会議への参加設定
デバイス	デュアルモニターモードの設定やBluetoothビーコンの有効化 / 無効化
会議の最適化	コーディネイト会議設定とカメラ / マイク / ホワイトボード機能の有効化 / 無効化
周辺機器	使用するマイクやスピーカー、コンテンツカメラの選択
背景を選択	外部ディスプレイに表示するテーマの選択
Windows 設定	管理者権限でのOSへのサインイン
デバイスのリセット	Microsoft Teams Rooms の設定を出荷時の状態にリセット

# 5

# Microsoft Teams Rooms の設定変更

## 2 管理者権限でのサインイン

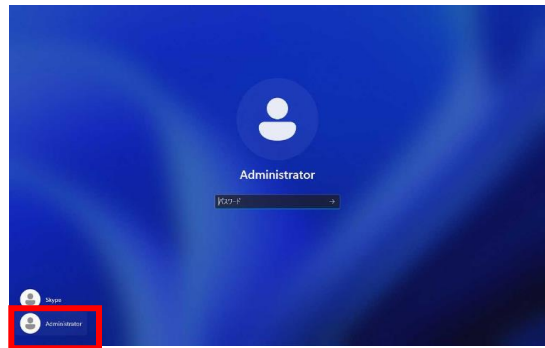
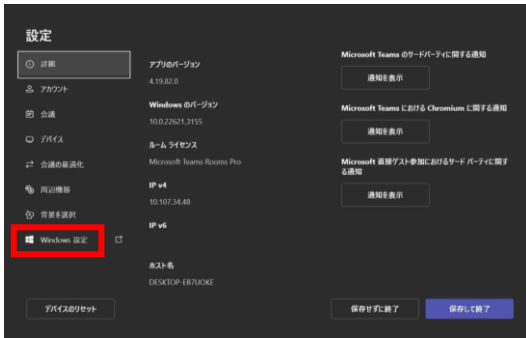
起動後に自動表示される待受画面より「その他」→「設定」を選択して Microsoft Teams Rooms の設定画面にアクセスします。



\* UAC（管理者パスワード入力画面）が何らかの理由で表示されない場合、外付けキーボードを接続してWindows キーを5回連続押すことで、ようこそ画面に移動することができます。

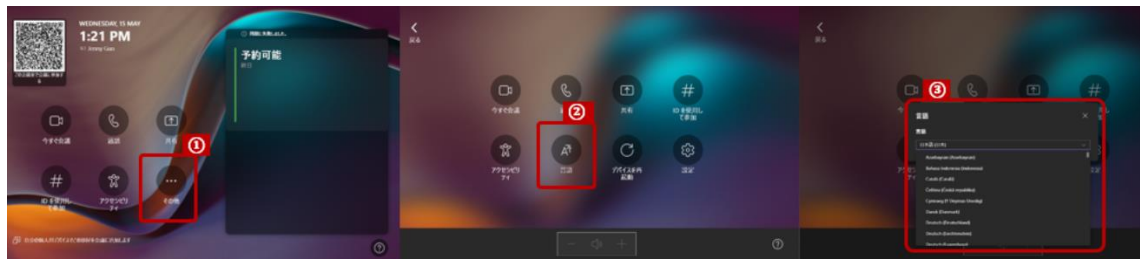
左カラムのメニューより「Windows 設定」を選択します。

その後、ようこそ画面の左下から「Administrator」を選択肢、管理者パスワードを入力します。



## Microsoft Teams Rooms の表示言語を変更する

Microsoft Teams Roomsをバージョン5.0.111.0にアップグレードした場合、アプリ内で表示言語を変更するオプションが利用可能になります。ただし、Microsoft Teams Roomsアプリで表示言語を変更しても、デフォルトの言語設定が永続的に変わるわけではありません。デバイスを再起動すると、表示言語はデフォルト設定にリセットされます。\*17



\*17 Microsoft Teams Rooms アプリの表示言語の変更

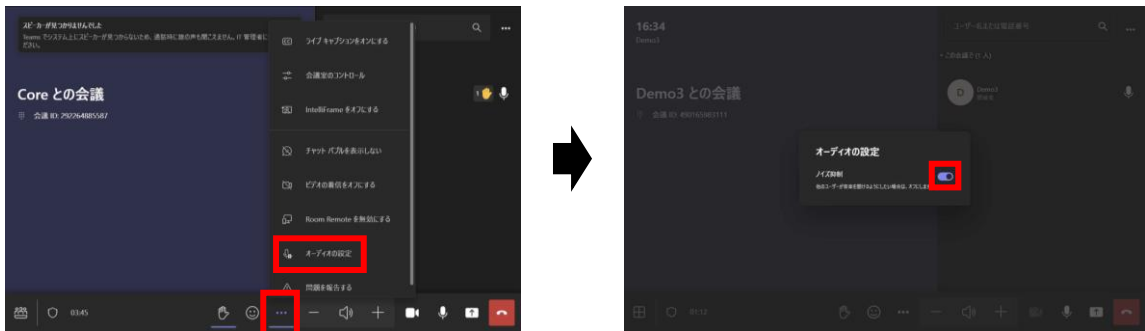
<https://techblog-lenovo.com/2024/05/15/microsoft-teams-rooms-language-change/>





## ノイズ抑制機能の設定

Microsoft Teams Rooms Pro ライセンスをご利用で、且つ Microsoft Teams Rooms 4.12.126.0 以降のバージョンでは、オンライン会議への参加時に音声以外の雑音を抑制するノイズ抑制機能を利用できるようになりました。会議参加中のコントローラー画面下部から設定調整が可能です。



### XML 設定を使用してノイズ抑制の既定値を変更する手順 <sup>\*18</sup>

デフォルトでノイズ抑制機能がオンに設定されています。既定値を変更したい場合、以下の手順で設定変更できます。

1. テキスト エディターを使用して、設定ファイルを作成

#### XML 設定参考例：ノイズ抑制の既定値を有効にする場合

```
<SkypeSettings>
  <NoiseSuppressionDefault>1</NoiseSuppressionDefault>
</SkypeSettings>
```

#### XML 設定参考例：ノイズ抑制の既定値を無効にする場合

```
<SkypeSettings>
  <NoiseSuppressionDefault>0</NoiseSuppressionDefault>
</SkypeSettings>
```

2. ファイル名を「SkypeSettings.xml」にして以下のパスに保存  
C:¥Users¥Skype¥AppData¥Local¥Packages¥Microsoft.SkypeRoomSystem\_8wekyb3d8bbwe¥LocalState
3. デバイスを再起動

\*18 Microsoft Teams Rooms のコンソールの設定を、XML 構成ファイルを使用してリモートで管理する  
<https://learn.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/xml-config-file>

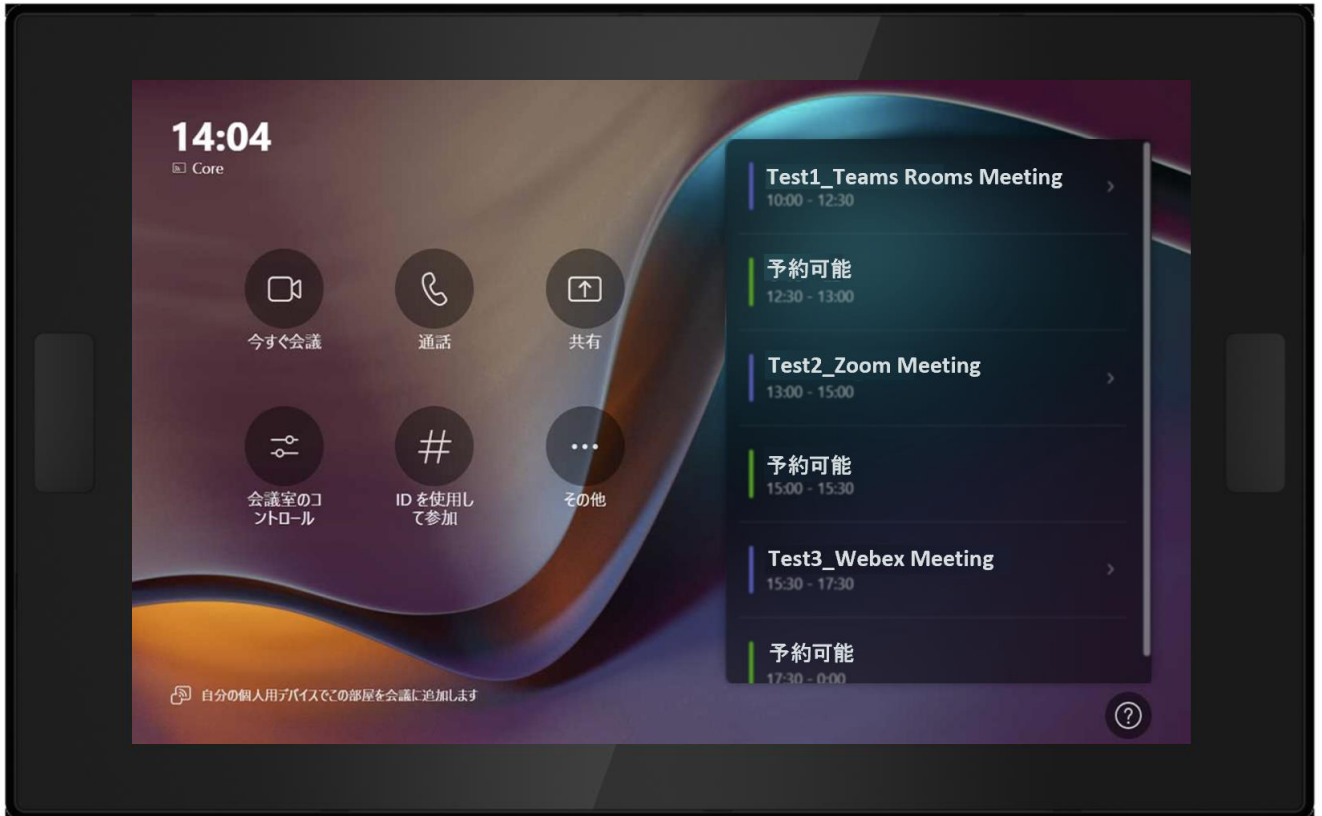


# 6

## 「サードパーティの会議」の有効化

Microsoft Teams Rooms では、Microsoft Teams 会議のみならず、Cisco Webex 会議 や Zoom ミーティング に直接ゲスト参加することが可能です。

本機能の利用にあたっては、Exchange Online、Microsoft Teams Rooms両方の設定が必要となります。



### 1 利用にあたっての前提条件

- Microsoft Teams Rooms のバージョンが 4.6.23.0 以降であること  
バージョン要件を満たさない場合、[アプリケーションのアップデート](#)を実施ください
- Exchange Online のカレンダーでサードパーティ会議のインビテーションを受信すること <sup>\*19</sup>
- Cisco Webex 会議に参加する場合、Webex Meeting Pro でホストされた会議であり、Cisco Webex Meeting Suite 40.7 以降を使用していること

詳細な要件については Microsoft のテクニカルドキュメント <sup>\*20</sup> も併せてご確認ください。

<sup>\*19</sup> ユーザー宛に送信されたインビテーションを、前章で設定した「リソース」アカウントのメールアドレスに転送すれば、Microsoft Teams Rooms の待ち受け画面に反映されます。

<sup>\*20</sup> サードパーティ会議への参加の有効化  
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/rooms/third-party-join>

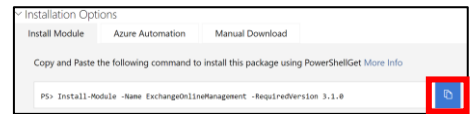


## 2 Microsoft 365 の設定

「リソース」アカウントのメールボックスの設定値を変更する必要があります。Teams Rooms Basicライセンスをご利用の場合<sup>\*21</sup>、この操作はMicrosoft 365 管理センターやTeams Rooms設定画面だけでは実施できないため、PowerShellのコマンドレットもご利用いただけます。

### Exchange Online PowerShell moduleのインストール

1. Windows PowerShellを管理者権限で実行
2. <https://www.powershellgallery.com/packages/ExchangeOnlineManagement/>をブラウザで開いて、インストール用コマンドレットをコピー



3. コピーした コマンドレットを実行  
\*ポップアップが出た場合、“Y”を入力して実行



### メールボックスの設定変更

1. 下記の PowerShell コマンドレットを実行
2. サインイン画面が表示されるので、Microsoft 365 の管理者アカウントでサインイン
3. 「リソース」アカウントのメールボックス情報を コマンドレット を用いて確認

```
Get-Mailbox | Where {$_.RoomMailboxAccountEnabled -eq $True} | Format-Table Name, UserPrincipalName
```

4. 「リソース」アカウントでのサードパーティ会議参加を有効化

```
Set-CalendarProcessing -identity "Name" -ProcessExternalMeetingMessages $True -DeleteComments $False -DeleteSubject $False
```

#### 💡 コマンドレットの書き換え

本項でご紹介したコマンドレット内にある<Name>は手順#3で確認した実際の会議室情報に置き換えて実行してください

## 3 Microsoft Teams Rooms の設定

次に Microsoft Teams Rooms 上で設定を変更します。

1. Microsoft Teams Rooms の [設定画面にアクセス](#)
2. 左カラムメニューより「会議」を選択
3. 「サードパーティの会議」を有効化
4. 画面右下の「保存して終了」を選択



<sup>\*21</sup> Microsoft Teams Rooms Proライセンスをご利用の場合、Microsoft Teams Rooms Pro管理ポータルでサードパーティ会議の有効化ができます。  
<https://techblog-lenovo.com/2024/07/05/microsoft-teams-rooms-pro-resource-account-settings/>

## 7

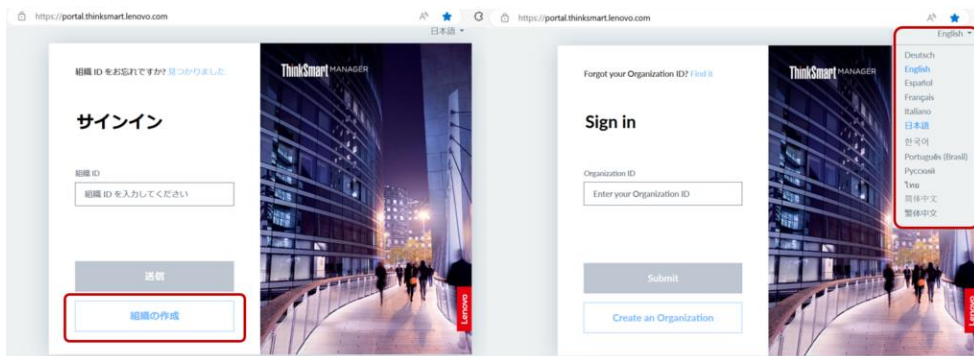
# ThinkSmart Manager<sup>\*27</sup> を利用した デバイスおよび周辺機器のリモート管理

ThinkSmart Managerは、クラウドを介し遠隔地の会議室も一括でリモート管理を実現するThinkSmart専用ソリューションです。これにより、会議室のデバイスに直接触れることなく、ネットワークやハードウェアの設定を遠隔から配信し、異常が発生した際には自動的に通知を受け取ることができます。vPro機能を用いた高度なりモート管理の実現によって、遠隔でのスマートな業務効率化を支援します。

## 1 ThinkSmart Managerのアカウント作成

ThinkSmart Managerでデバイスを管理するには、テナント（アカウント）を作成することが必要です。テナントの作成手順を説明いたします。

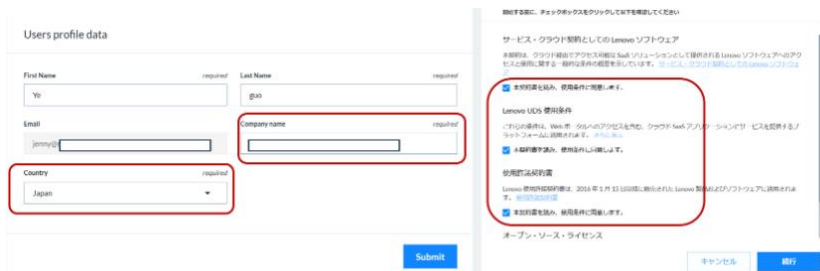
- ① Lenovo IDの作成<sup>\*22</sup>（既にLenovo IDをお持ちの方はこのステップを省略してください。）
- ② ThinkSmart Manager ポータル<sup>\*23</sup> にアクセスして、「組織の作成」をクリック  
ページの表示を日本語に変更したい場合、右上のプルダウンメニューから日本語に変更します。



- ③ 作成したLenovo IDとパスワードを入力



- ④ 会社名を入力して、国を選択し、ご使用条件を同意



- ⑤ テナントを作成すると、オーナーとして新しく作成された組織に自動的にログインします

\*22 Lenovo IDの作成 <https://techblog-lenovo.com/2024/07/02/ceate-lenovo-id/>

\*23 ThinkSmart Manager ポータル <https://portal.thinksmart.lenovo.com/>

\*27 ThinkSmart Manager ユーザーガイド <https://techblog-lenovo.com/2024/07/05/thinksmart-manager-user-guide/>



## 7

ThinkSmart Managerを利用した  
デバイスおよび周辺機器のリモート管理

## 2 デバイスの登録

デバイスをThinkSmart Managerからリモート管理する場合、あらかじめデバイスをThinkSmart Manager 管理ポータルに登録する \*24 必要があります。

- ① ThinkSmart Managerポータル \*23 にサインイン
- ② 左のコラムメニューから【デバイス マネージャー】→【デバイス】→【+】ボタンをクリックして登録したいデバイスの機種を選択



- ③ 機種とデバイスのシリアル番号を入力して【次へ】をクリック  
機種とシリアル番号はThinkSmartに張り付けられたラベルからご確認ください。



- ④ 管理者パスワードを入力して送信をクリックください。
- ⑤ 【申請中のデバイス】から登録状況を確認いただけます。



\*23 ThinkSmart Manager ポータル <https://portal.thinksmart.lenovo.com/>

\*24 ThinkSmart Managerにデバイスを登録する  
<https://techblog-lenovo.com/2023/04/07/thinksmart-manager-enrollment/>



# 7

## ThinkSmart Managerを利用した デバイスおよび周辺機器のリモート管理

### 3 デバイスの状況確認

ThinkSmart Managerから登録したデバイスの詳細情報の確認が可能です。

【デバイスマネージャー】>【デバイス】から確認したいデバイスをクリックすると、ポータル右側でデバイスの詳細情報が表示されます。デバイスの下記の情報を確認可能です。

- ◆ デバイス情報
  - ・ デバイス情報状態（オンライン/オフライン）
  - ・ モデル（MT情報）
  - ・ UCソリューション（Microsoft Teams Rooms/Zoom Rooms）
  - ・ MTR カメラ制御（Microsoft Teams Rooms (MTR) Room Controls Plug-In for ThinkSmart Camera<sup>\*25</sup> が搭載されているか）
  - ・ IP アドレス場所デバイスシリアル番号
- ◆ デバイスに接続している周辺機器
 

周辺機器コラムでは、ThinkSmartに接続された周辺機器が一覧表示されます。設定を変更できる周辺機器の場合、アクションコラムに鉛筆のマークが表示され、これをクリックすることで設定の変更が行えます。
- ◆ デバイスバージョン情報
  - ・ トラブル発生時、問題切り分けに必要なバージョン情報がリストアップされています。
  - ・ BIOSバージョン
  - ・ OSバージョン
  - ・ UCソフトウェアバージョン



### 4 ThinkSmart カメラの設定変更<sup>\*26</sup>

ThinkSmart Managerから登録したThinkSmart Oneの内蔵カメラや、ThinkSmart Core、ThinkSmart Hubに接続したThinkSmart CamおよびThinkSmart Bar 180の設定変更が可能です。



<sup>\*25</sup> Microsoft Teams Roomsの会議室コントロールを使用したThinkSmartカメラの調整  
<https://techblog-lenovo.com/2024/02/20/thinksmart-camera-control-on-mtr/>

<sup>\*26</sup> ThinkSmart カメラはThinkSmart Managerからだけでなく、ThinkSmart カメラ コントロールアプリからの設定変更も可能です。  
<https://techblog-lenovo.com/2024/07/05/thinksmart-camera-control-app/>



## 7

ThinkSmart Managerを利用した  
デバイスおよび周辺機器のリモート管理

## 5 プロキシ設定

Microsoft Teams RoomsもしくはZoom Roomsを搭載しているWindowsベースの会議室専用デバイスのプロキシ設定は、出荷時点で設定されているWindows ユーザーアカウント【Skype】（Microsoft Teams Rooms搭載デバイスの場合）もしくは【ZoomRooms】（Zoom Rooms搭載デバイスの場合）に対する設定が必要です。通常、管理者権限でデバイス一台一台ログインしてレジストリエディタを開いて設定変更が必要な為、時間と工数がかかります\*10。ThinkSmart Managerに登録している端末の場合、ThinkSmart Managerウェブ管理ポータルからのリモートセットアップが可能です。さらに、プロキシ設定を登録済みのデバイスに対して一括展開することもできます。設定方法についてご案内します。

- ① ルームシステムをネットワークに接続
- ② ThinkSmart Manager 管理ポータルへログイン
- ③ 【デバイスマネージャー】 > 【デバイス】 > 対象デバイスをダブルクリックして表示された右側のコラムで【構成】 > 【ネットワーク (Network)】 > 【プロキシ設定】でプロキシ設定に必要な情報を入力します。
  - IPアドレスを直接指定する場合  
プロキシ設定は【マニュアル(Manual)】を選択し、IP アドレスとアドレスポート（オプション）を入力
  - スクリプトを使う場合  
プロキシ設定は【Autoconfig】を選択し、プロキシスクリプトのURLを入力

\*10 Microsoft Teams Rooms プロキシ接続設定ガイド

[https://download.lenovo.com/mobilesjp/microsoft\\_teams\\_rooms\\_proxy\\_connection\\_setup\\_guide.pdf](https://download.lenovo.com/mobilesjp/microsoft_teams_rooms_proxy_connection_setup_guide.pdf)



リカバリーメディアの作成は、ThinkSmart デバイス以外の Windows PC で実施してください。

## 1 Lenovo ID の作成

リカバリーメディアの作成には Lenovo ID の作成が必要です。  
Lenovo サポートサイト (<https://support.lenovo.com/jp/ja/>) 右上にある「マイアカウント」  
→「登録する」からご登録いただけます。



## 2 リカバリーメディアの申し込み

Lenovo リカバリーメディア申し込みページを \*27 Webブラウザで開きます。  
Lenovo アカウントでのログインが求められた場合、#1で作成したアカウントをご使用ください。

画面中ほどのシリアル番号入力欄にお使いの ThinkSmart デバイスのシリアル番号を入力して  
青色の「>」ボタンを選択します。

### リカバリーメディアを申し込む

1  
資格を確認する

2  
注文する

3  
顧客情報を入力

4  
確認

**シリアル番号を入力**

>

製品名やモデルが分からない場合

[⇒ シリアル番号を検出する](#)

製品を自動的にスキャンしてシリアル番号を検出すると時間を節約できます

「国/地域」及び「OSの言語」を選択後、保証ポリシーに同意の上で「次へ」をクリックします。

#### ご依頼内容詳細

<b>Core</b>	部品番号 5R
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> </div> <div style="width: 20%;"> <p>シリアル番号</p> <p>PF</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>マシンタイプ</p> <p>11i</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>オペレーティン</p> <p>Win10IoT/CBB Skype</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>国/地域</p> <p>日本</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>OSの言語を選択する</p> <p>Japanese</p> <p><small>その他のOS言語はこちら</small></p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>メディアの種類</p> <p>ダウンロード</p> </div> </div>	

同意します 保証ポリシー

\*27 Lenovo リカバリーメディア申し込みページ  
<https://pcsupport.lenovo.com/jp/ja/lenovorecovery>





# 8

## 工場出荷状態へのリカバリー

お客様情報を入力して「送信」をクリックします。  
メールアドレス欄には、Lenovo IDで使用しているものをご入力ください。

**お客様情報**

<p>* 名 (例:太郎)</p> <input style="width: 90%;" type="text"/>	<p>* 姓 (例:レノボ)</p> <input style="width: 90%;" type="text"/>	<p>* 国 / 地域</p> <input style="width: 90%; background-color: #e0e0e0;" type="text" value="日本"/>
<p>* E-Mail Address (例 : tarolenovo@lenovo.com)</p> <input style="width: 90%;" type="text"/>	<p>* メールアドレスの確認 (例 : tarolenovo@lenovo.com)</p> <input style="width: 90%;" type="text"/>	

入力したメールアドレス宛に申し込み完了メールが届いたら作成の準備は完了です。



## 3 リカバリー USB キーの作成

Lenovo デジタル・ダウンロード・リカバリー・サービス (DDRS) サイト \*26 より Lenovo USB Recovery Creator をダウンロードします。

Lenovo デジタル・ダウンロード・リカバリー・サービス (DDRS) - 必要なファイルをダウンロードして、Lenovo リカバリー USB キーを作成する

Lenovo USB リカバリーツールで、PCにWindowsの再インストールに必要なリカバリー USB キーを作成します。\*注: Lenovo USB リカバリー作成ツールは、Windows のみに対応しています。

Lenovo USB Recovery Creatorのダウンロード  
Lenovo USB Recovery Creator tool for Windows

ダウンロードした Lenovo USB Recovery Creator を起動します。

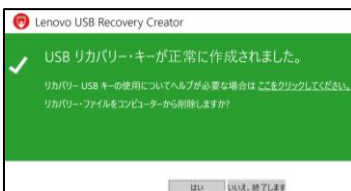
「ホーム」画面で「開始」ボタンを押下し、申込時に使用した Lenovo ID の認証情報でサインインします。



申込時に入力したシリアル番号を選択して「確認」ボタンを押します。



ダウンロード先を指定して「ダウンロード」を選択すると、ダウンロードがはじまります。ダウンロード完了後、16GB以上の容量のUSBメモリをPCに挿入して「次へ」を選択します。適切なUSBメモリが選択されていること、また既存データが削除されることに同意の上で画面の案内に沿ってリカバリー USB キーの作成を行います。以下の画面が表示されると完了ですので、USBメモリをPCから取り外してください。



\*28 Lenovo USB Recovery Creator のダウンロード  
<https://pcsupport.lenovo.com/jp/ja/solutions/ht103653>



# 8

## 工場出荷状態へのリカバリー

本ページ以降の手順は Microsoft Teams Rooms がプリインストールされた ThinkSmart デバイスで行います。あらかじめ作成したリカバリー USB キー（USBメモリ）をお手元にご用意ください。

### 4 ThinkSmart のリカバリー

リカバリー USB キー（USBメモリ）を ThinkSmart デバイスに挿入します。

ThinkSmart Core、ThinkSmart One、ThinkSmart Hub で共通する起動デバイス選択方法

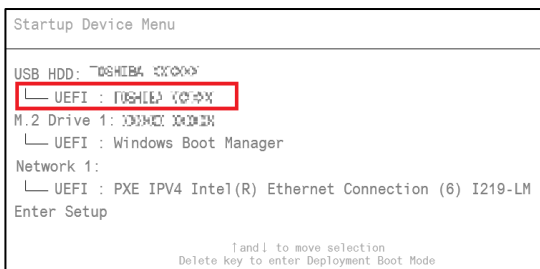
事前に外付けディスプレイとUSB接続のキーボード、マウスを接続しておく必要があります。  
電源投入後、Lenovo ロゴ画面が表示されると、直ちにF12 キーを押して「Startup Device Menu」に入ります。

ThinkSmart Hub 独自の方法

電源投入後、Lenovo ロゴの右上に表示される「BBS」を2回以上連続タップし、「Startup Device Menu」に入ります。

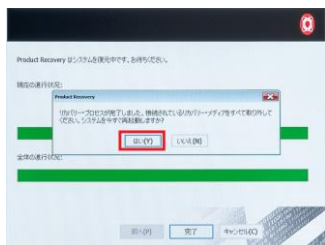


以下の画面でリカバリー USB キーを選択します。



希望する言語を選択後、利用条件に同意します。通常は「JP [日本語]」を選択してください。最終確認画面が表示されますので「はい」を選択してリカバリーを開始します。

リカバリー・プロセスが完了後、以下の画面が表示されます。USB キーを取り外して「はい」を選択します。



再起動後、自動的に Windows の再設定が行われて出荷状態に戻ります。このプロセスには時間がかかりますので、ご注意ください。

## 5 ThinkSmart Managerから管理者パスワードの設定

ThinkSmart Managerに登録したデバイスをリセットした場合、初期設定時に管理者パスワードの設定画面は表示されません。ThinkSmart Managerから管理者パスワードの設定が必要です。

**デフォルトの管理者パスワードの変更**

新しい規制とポリシーを順守するために、このデバイスを使用する前に Windows のデフォルトの管理者パスワードを変更する必要があります。

新しいパスワードを入力してください \*

パスワードを再入力してください \*

① タップするか長押しして、スクリーンキーボードを開きます。

パスワードの変更

**パスワード更新**

このデバイスに新しいパスワードが自動生成されました。新しいパスワードにアクセスするには、ThinkSmart Manager にログインし、デバイスの Windows 構成設定に移動します。

閉じる

ThinkSmart Managerに登録されていない場合、初期設定時パスワードの設定画面が表示されます。

ThinkSmart Managerに登録されている場合、初期設定時パスワードの設定画面が表示されません。

ThinkSmart Managerにログインして、デバイスの設定画面から管理者パスワードを設定します。

- ① デバイスマネージャー > デバイス > リセットしたデバイスをクリック
- ② 構成 > Windows > 管理者パスワードの設定をクリック
- ③ ポップアップ画面で「新しい 管理者パスワード」と「管理者パスワードの確認」で管理者パスワードを入力\*

\* 「現在の管理者パスワード」は自動生成されるため、入力する必要ありません。不意に自動入力した内容をクリアした場合再生成することができないため、ご注意ください

The screenshot shows the ThinkSmart Manager interface with several steps highlighted by red boxes and numbers:

- ①: The 'デバイス' (Devices) menu item in the left sidebar.
- ②: The 'デバイスマネージャ' (Device Manager) sub-menu item.
- ③: A device entry in the 'デバイス' list.
- ④: The '構成' (Settings) button at the top.
- ⑤: The 'Windows' option in the settings menu.
- ⑥: The '管理者パスワードの設定' (Set administrator password) option.
- ⑦: The input fields for '新しい管理者パスワード' (New administrator password) and '管理者パスワードの確認' (Confirm administrator password).

# thanks.

本ドキュメントに記載の内容は2024年7月1日時点のものであり、ThinkSmart デバイスの展開のための参考資料として公開しています

内容は今後予告なく変更または削除となる場合があります

© 2024 Lenovo Japan LLC. All Rights Reserved.

第13版 (2024年7月)

レノボ・ジャパン合同会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX  
<https://www.lenovo.com/jp>